

医療安全で研修会開く

AEDの扱いを学ぶ



人形を使ってAEDの扱いを学ぶ参加者

京都医療生協・中野眼科は、医療安全などで職員研修会を二月十四日(土)夜、京都アスニーで開き、看護師や事務職の扱いについて奥田美

千留看護師長から人形を使った実演があり、扱いの基本を学びました。山田亮三理事長からは医療安全についての話を聞きました。はじめに感染症対策の話をお聞きしました。続いて『平成二十七年版医療安全のための手引き』について説明を受けました。

それによると、二〇一四年一月から二〇一五年二月までに報告のあった「インシデント・アクシデント」の件数は一三七件でした。これは患者一〇三三人に一件の割合になります。

事例報告一三七件のうち九十二件(六七%)は受付で起こっています。内容は例年と変わらずコンピュータのトラブルが中心で、間違いが七十五件で過半数を占めています。薬の渡し間違いは十六件で昨年の十九件より減少しました。

患者さんの取り違えは、昨年に引き続き今年もありませんでした。山田理事長は、「事例」が発生した場合は全職員が共有すること、「医療安全のための五つの重点目標」を引き続き徹底することが大切であることを強調しました。

政府は、来年度より「患者申し出療養」を実施しようとしていますが、これは「混合診療」と言われるものの解禁です。混合診療によって、抗がん剤などの未承認薬が使用しやすくなり患者の利益になるとの報道もありますが、保険外の高額な薬代は自己負担です。この医療が横行する危険性があります。新しい医療技術が保険適用されないことが危惧されるだけでなく、これまで保険適用だった当たり前の医療が費用対効果が低いと保険から外される計画も出されています。

「赤紙」って、なに?」これは、中野眼科創立者である中野信夫先生の長女・中野圭子さんが、軍医として第二次世界大戦に参加した中野先生のスケッチ画を使い、戦争を知らない若い世代に読んでもほしいと作ったもので、豪雨のジャングルで木にもたれて死を待つ兵士や兵士の屍をついばむコンドルなどの凄惨なスケッチが描かれています。



「赤紙」と呼ばれた兵隊を集める召集令状の写しである中野信夫先生のスケッチ画を、戦争を知らない若い世代に読んでもほしいと作ったもので、豪雨のジャングルで木にもたれて死を待つ兵士や兵士の屍をついばむコンドルなどの凄惨なスケッチが描かれています。

絵本冊子

『赤紙』って、なに?」

戦後七十年を迎えるのに合わせて、絵本冊子『赤紙』って、なに?」(A5、三十一頁)が出版されました。副題は「中野信夫の回想、インパール作戦」。

テレビの長寿時代劇シリーズ『水戸黄門』が終わり、三三年余の「お荷物」になってきた。当時は「時代劇の危機」が盛んに議論されたが、事態はそれほど悪化してはいなかった。そんななかで、『水戸黄門』だけが長寿を続けたが、これに強い愛着を持つ時代劇・映画史研究家の春日太一氏が分析している。

映画から始まり、主戦場は急速に普及したテレビに移っていった。九〇年代初めには各局ともテレビ時代劇が大比重量を占めていたが、九〇年代後半になると時代劇が各局の「お荷物」になってきた。当時は「時代劇の危機」が盛んに議論されたが、事態はそれほど悪化してはいなかった。そんななかで、『水戸黄門』だけが長寿を続けたが、これに強い愛着を持つ時代劇・映画史研究家の春日太一氏が分析している。

なぜ時代劇は減びるのか

「水戸黄門」は同じ時間に同じシーンが登場。新編新書、七二〇円十税。(亀井 励)

4月の献立



わげきのぬた(2人分)

【材料】
わげき 100g程度
ほたるいか(加熱済みのもの) 10匹前後
白味噌 大さじすり切り1杯
味噌汁 大さじ1杯
純米酢 大さじ1杯
練り芥子少々

【作り方】
① わげきのひげ根は切り落とす。洗って水気を拭く。

皆保険の土台を壊す

「混合診療」の解禁

政府は、来年度より「患者申し出療養」を実施しようとしていますが、これは「混合診療」と言われるものの解禁です。混合診療によって、抗がん剤などの未承認薬が使用しやすくなり患者の利益になるとの報道もありますが、保険外の高額な薬代は自己負担です。この医療が横行する危険性があります。新しい医療技術が保険適用されないことが危惧されるだけでなく、これまで保険適用だった当たり前の医療が費用対効果が低いと保険から外される計画も出されています。

保険で良い医療を

七十五歳以上の医療費窓口負担ゼロの東京都日の出町は、今年二月から七十歳以上の医療費助成制度を開始、二千元を超える分を償還します。

【あざみ班・田寺慈子】